

タイ長期フィールド・スタディ（FS） プログラムの 特色と教育効果について

恵泉女学園大学 人間社会学部
国際社会学科
堀 芳枝

1

本日のプレゼンテーション

- （１）恵泉の教育理念
- （２）恵泉におけるFSプログラムの変遷
- （３）長期FSの紹介（映像）
- （４）参加者対象のアンケート結果
- （５）卒業後の進路の事例
- （６）今後の課題

2

1 . 恵泉女学園大学の教育理念

(1) キリスト教：自己を尊重し、自己を愛するように他者を尊重する人を育てる

(2) 国際：世界を知り、偏見や差別に立ち向かう力を育む

(3) 園芸：自然を慈しみ、いのちを尊ぶ人を育てる

2 . プログラムの変遷

本学はグローバルな観点から社会的公正をめざす市民の育成のために、フィールドスタディを学部教育の中核に組み込んできた（2年次より履修可能）

1999年より 短期フィールドスタディ

- インド、フィリピン、バングラディッシュ、アメリカ、オーストラリア、ドイツ・オランダ、インドネシア、沖縄、中国、韓国ほか実施 1プログラム10名以上の参加

2000年よりタイ長期フィールドスタディ

- 8月～12月までの5か月間のうち最初の2ヶ月はタイ語や現地講義を受講し、2か月程度、自分のテーマに沿って一人で村やNGOで体験学習をおこなう
- チェンマイ大学と協定を結び、現地教員としてチェンマイ大学の修士課程を卒業した恵泉の卒業生を採用

3. 長期FSの紹介

ここで、恵泉のフィールドスタディの映像をご覧ください・・・



5

長期FSの単位と運営について

- (1) 春学期：事前授業「フィールド・スタディ入門II」
(2単位)
- (2) 8月～秋学期：現地実習(タイ語4単位、現地講義4単位、課題研究I 4単位、課題研究II 4単位の合計15単位)
- (3) 次年度春学期：事後授業「FS VI」(1単位、2015年度カリキュラム改革により2単位から変更)
- (2) 体験学習(FS・CSL)委員会が教職員7名が企画や危機管理についてサポートし、マネジメントを行っている。

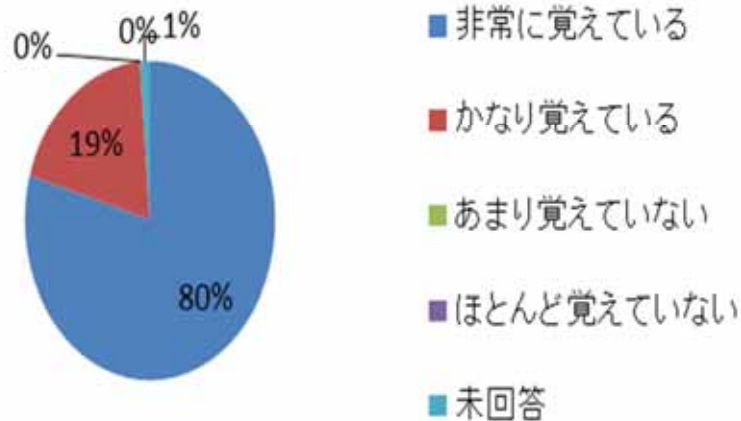
6

4 . 7月参加者へのアンケート結果 2015年7月実施124人中 78人回答（回答 率62.9%）

（ 円グラフの数字はすべて% ）

質問7

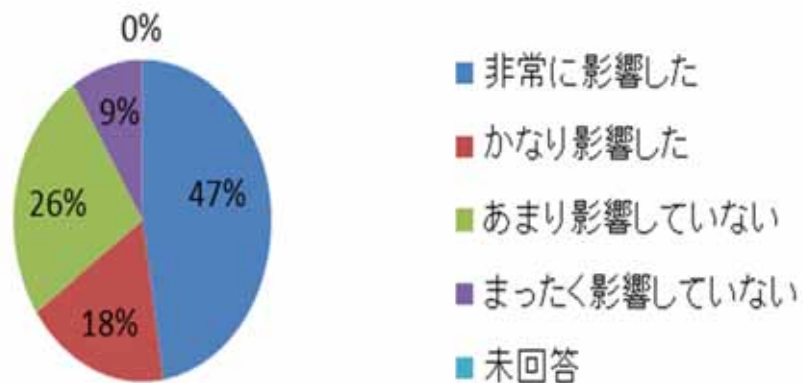
長期FSに参加したことを覚えているか？



7

質問9

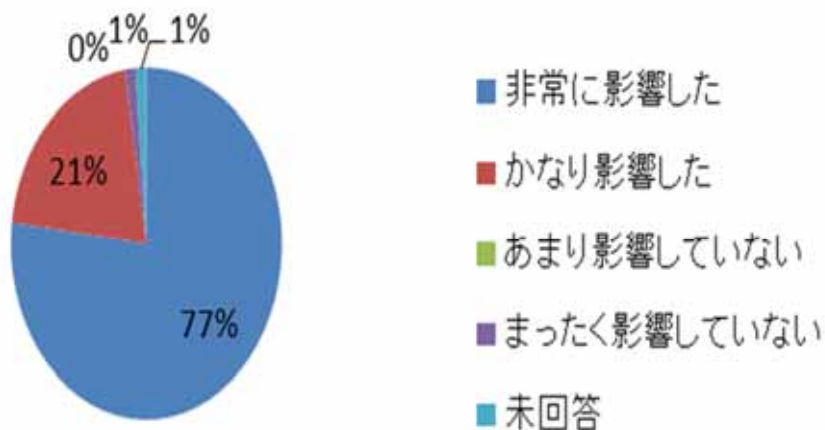
タイ長期FSに参加したことは、卒業後の進路選択
(転職含め)に影響を与えたと思うか？



8

質問10

タイ長期FSに参加したことは、自分の人生観や国際社会を考える考え方に影響を与えたと思うか？



9

5. 長期FSに参加した学生の進路（事例）

- (1) 卒業後日本のNGOで3年間働く オーストラリアで修士号（平和学）取得 国連大学やJICAの研究員補助 国際ボランティアセンターのスタッフとしてパレスチナの支援へ（2015年 35歳）
- (2) 卒業後 タイに戻りタイ語の語学学校 体験学習先のNGOに戻りそのままスタッフとして働く（2015年 34歳）
- (3) 卒業後 タイに戻りタイ語の語学学校 チェンマイの私立病院で日タイ通訳者（2015年 35歳）
- (4) 卒業後民間企業に就職し、2年後に青年海外協力隊としてインドネシアに2年 タイに留学して修士号を取得（2015年 28歳）
- (5) 卒業後、東都生協や神奈川ゆめコープなど生協関連に勤務（2015年 34歳、32歳）
- (6) 卒業後、有機農業家として独立（2015年 34歳、31歳）
- (7) フェアトレードコーヒーを体験学習したので、卒業後スターバックス、ブルーボトルコーヒーをへて 自分のカフェ出店を模索（2015年 28歳）

10

6 . 卒業生の声

- (1) 文化、生活習慣、時間の感覚が異なる相手を認め、尊重して受け入れる「他者理解」という面で影響を受けた
(33歳主婦)
- (2) タイで出会った自立した女性の在り方が、自分の人生に一番影響を与えた。意見をしっかり持ち、必要な場面で発言し、はつらつと生きている彼女たちから、自立している人は生きることには真剣だし、知恵があることを学んだ。人生に必要なものはお金よりも、どう生きていくかの意志であると思う
(33歳有機農業場経営)
- (3) 国際社会問題への関心が高まった。一つの問題は小さいことかもしれないが、国と国とでわけるのはではなく、アジアという地域ひとくくりで、あるいは世界という地球規模で考えることもときには必要ではないか (24歳、人材派遣会社勤務)
- 堀芳枝 波多真友子 恵泉女学園大学 体験学習 (FS・CSL) 委員会編 『タイで学んだ女子大生たち』 コモンズ、2016年、第2章より抜粋。

11



12

(7) 今後の課題

- (1) 海外FSと 国内のCSL(コミュニティ・サービス・ラーニング)プログラムとの連携 海外の貧困問題、民族問題、ジェンダーの問題と 日本の問題はどのような社会構造によって引き起こされているのか、その共通点と違いを理解する。そして、私たちはその解決に向けて、何ができるのか、を考え行動する人材の育成
- (2) テロが頻発する中での危機管理・・・



ご清聴ありがとうございました



15

私のタイ長期フィールド・スタディ の体験とキャリア形成

恵泉女学園大学 人文学部 国際社会文化学科 2006年卒業
東都生活協同組合 事業企画室 大浦 志保

16

報告内容

1. 恵泉女学園大学を選んだ理由
2. 海外留学を通じて
学んだこと・身についた力
3. その後の進路へのつながり

17

恵泉女学園大学を選んだのはなぜ？

きっかけ

高校2年生の時に会った「地球のステージ」

魅力

フィールド・スタディ(FS)プログラムの充実

決め手

緑が多く自然に囲まれた静かな環境



18

フィールド・スタディ(FS)プログラムの充実



19

緑が多く自然に囲まれた静かな環境



20



タイ体験ツアー
フィリピン、バングラデシュFS
タイ長期FSへの参加



21

東都生活協同組合(コープ)で働いています



22

なぜ、生協に就職したの？



園芸の授業とタイ長期
フィールド・スタディへの参加



「食」と「農業」への関心



タイ長期フィールド・スタディでの体験

25

農薬散布のお手伝い



26



農薬を使って栽培したみかんは
見た目も美しく、その上、安くて売れる

なぜ???

体験学習先NGO ISAC

(Institute for Sustainable
Agriculture Community)



商品の普及活動
学生対象のスタディツアー

29

生産現場と消費現場の情報交換や交流の場の提供



とても重要かつ大切な活動

30

タイ長期フィールド・スタディの体験で得た学びを大切にしながら日々の仕事に取り組んでいます！



31



32



色々なことに
興味を持つこと

好奇心や向上心、
疑問をそのまま
にしないこと

「勉強」ではなく
「学ぶ」こと

33

海外留学での学びが、
今のキャリアにつながっています！



ご清聴、ありがとうございました。

34